

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公表番号】特表2019-535826(P2019-535826A)

【公表日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-050

【出願番号】特願2019-547229(P2019-547229)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/573 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/566 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/57 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/12 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)  
 C 0 7 J 7/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/22 (2006.01)  
 A 6 1 P 9/10 (2006.01)  
 A 6 1 K 45/06 (2006.01)  
 C 0 7 J 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/573  
 A 6 1 K 31/566  
 A 6 1 K 31/57  
 A 6 1 P 9/00  
 A 6 1 P 11/00  
 A 6 1 P 9/12  
 A 6 1 P 9/04  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1  
 A 6 1 K 45/00  
 C 0 7 J 7/00  
 A 6 1 K 38/22  
 A 6 1 P 9/10 1 0 1  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1  
 A 6 1 K 45/06  
 C 0 7 J 1/00

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

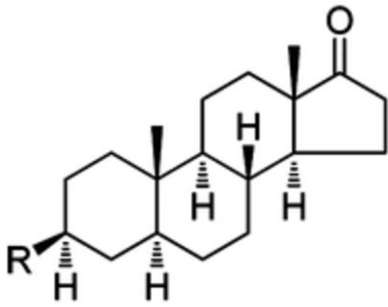
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

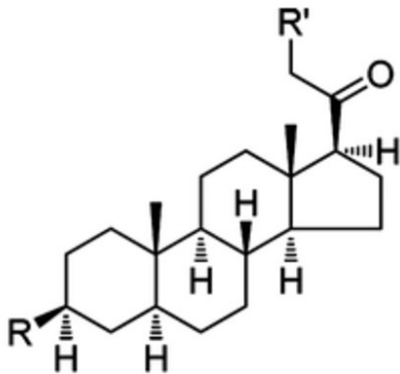
## 【化 1】



(i) 式 I、

R は尿素、カルバメート、スルホンアミド、若しくはスルファミドである式 I；

## 【化 2】

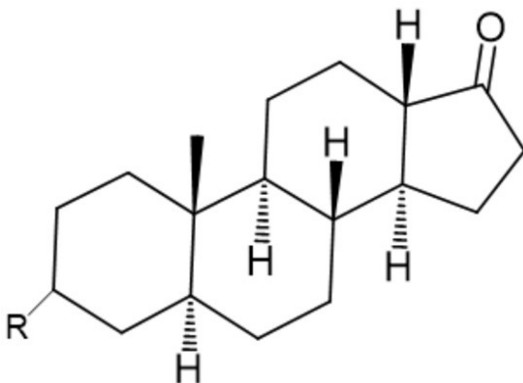


(ii) 式 II、

R はスルホンアミド若しくはスルファミドであり；並びに、

R' は H 若しくは OH である式 II；

## 【化 3】



(iii) 式 III、

R は R<sup>1</sup>NH 若しくは OH であり；

R<sup>1</sup> は H、NHアシル、CONHR<sup>2</sup>、CONR<sup>3</sup>R<sup>4</sup>、CO<sub>2</sub>R<sup>2</sup>、SO<sub>2</sub>R<sup>2</sup>、SO<sub>2</sub>R<sup>5</sup> 及び SO<sub>2</sub>NH<sub>2</sub> から選択され；

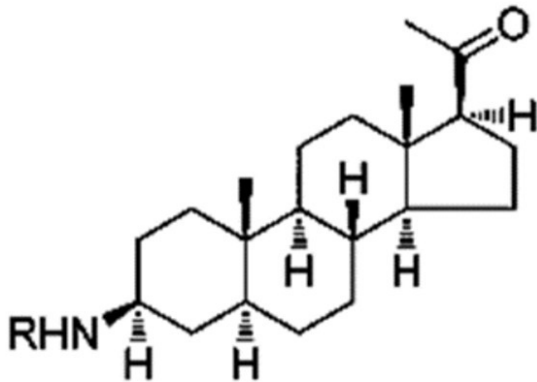
R<sup>2</sup> は 1 ~ 6 個の炭素原子の直鎖及び分岐アルキルであり；

R<sup>3</sup> 及び R<sup>4</sup> は H 並びに 1 ~ 6 個の炭素原子の直鎖及び分岐アルキルから各々独立して選択され；並びに、

R<sup>5</sup> はフッ素、塩素、並びに 1 ~ 6 個の炭素原子の直鎖及び分岐アルキルから選択される 1 又は 2 個の置換基で任意に置換されたフェニルである式 III；



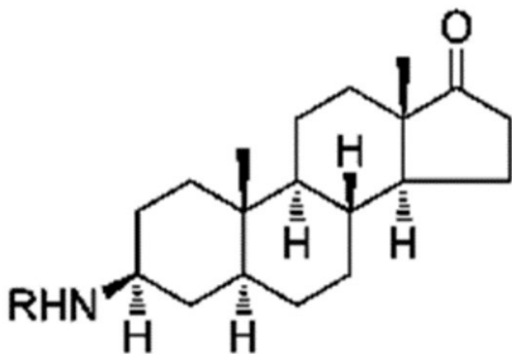
【化 6】



(vi) 式 V I、

R はスルホンアミドである式 V I ;

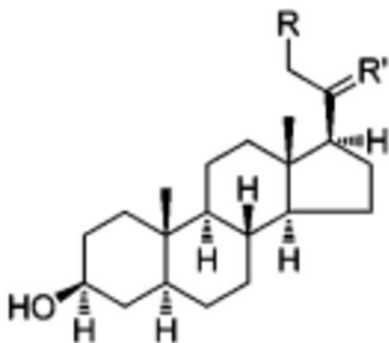
【化 7】



(vii) 式 V I I、

R は尿素である式 V I I ; 若しくは、

【化 8】



(viii) 式 V I I I、

R は OH であり、R' は O である式 V I I I、

の式を有する化合物、又は、それらの任意の組み合わせ、を含み、  
並びに、それを必要とする対象における心血管障害及び / 又は肺障害を治療又は予防する方法にお  
いて使用する G 6 P D 阻害剤の量が 1 0 m g / 日 ~ 3 0 0 m g / 日の間である、グルコース - 6 - リン酸デヒドロゲナーゼ ( G 6 P D ) 阻害剤、又はその薬剂的に許容でき  
る塩 ( 結晶及び / 又は非晶質 )、非塩非晶質形態、溶媒和物、多形体、互変異性体若しく  
はプロドラッグを含む、心血管障害及び / 又は肺障害の治療又は予防剤。

【請求項 2】

前記阻害剤は、N - [ ( 3 、 5 ) - 2 0 - オキソプレグナン - 3 - イル ] メタンスルホンアミド ; N - エチル - N ' - [ ( 3 、 5 ) - 1 7 - オキソアンドロスタン - 3 - イル ] 尿素 ; N - [ ( 3 、 5 ) - 1 7 - オキソアンドロスタン - 3 - イル ] スルホンアミド ; ( 3 、 5 ) - 3 , 2 1 - ジヒドロキシプレグナン - 2 0 - オン、又はそれらの任意の組み合わせを含む、請求項 1 に記載の治療又は予防剤。

【請求項 3】

前記心血管障害が、肺高血圧症、肺高血圧症に関連する心不全、鬱血性心不全、肥大型心筋症、糖尿病性心筋症、高血圧、脳卒中、中膜肥厚、医原性介入後の急性新生内膜形成、アテローム性動脈硬化症、又はそれらの組み合わせを含む、請求項 1 に記載の治療又は予防剤。

【請求項 4】

前記の心血管障害及び / 又は肺障害が血管肉腫 ( a n g i o s a r c o m a )、血管肉腫 ( h e m a n g i o s c a r c o m a )、ティモシー症候群、又はそれらの組み合わせである、請求項 1 に記載の治療又は予防剤。

【請求項 5】

前記の心血管障害及び / 又は肺障害が肺高血圧症 1 ~ 5 群のいずれか、またはそれらの組み合わせを含む、請求項 1 に記載の治療又は予防剤。

【請求項 6】

前記障害が肺高血圧症の 1 群として分類される強皮症を含む、請求項 6 に記載の治療又は予防剤。

【請求項 7】

それを必要とする対象における心血管障害及び / 又は肺障害を治療又は予防する方法において使用する G 6 P D 阻害剤の量が 3 0 m g / 日 ~ 2 0 0 m g / 日の間である、請求項 1 に記載の治療又は予防剤。

【請求項 8】

利尿剤、血管拡張薬、強心薬、アンジオテンシン変換酵素 ( A C E ) 阻害剤、ベータ遮断薬、神経液性ブロッカー、アルドステロン拮抗薬、ヒストンデアセチラーゼ阻害剤、エリスロポエチン、又はそれらの組み合わせを用いて対象を治療することをさらに含む、請求項 1 に記載の治療又は予防剤。

【請求項 9】

医療機器及び / 又は手術を用いて対象を治療することをさらに含む、請求項 1 に記載の治療又は予防剤。

【請求項 10】

前記医療機器は両心室ペースメーカー、植え込み型徐細動器 ( I C D )、心室補助装置 ( V A D )、左心補助循環装置 ( L V A D )、心臓再同期療法 ( C R T )、又はそれらの組み合わせを含む、請求項 9 に記載の治療又は予防剤。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の式 I、式 I I、式 I I I、式 I V、式 V、式 I V、式 V I I 若しくは式 V I I I の化合物、又は、その薬剂的に許容できる塩 ( 結晶及び / 又は非晶質 )、非塩非晶質形態、溶媒和物、多形体、互変異性体若しくはプロドラッグ、を治療有効量で含む医薬組成物。

【請求項 12】

それを必要とする対象における心血管障害及び / 又は肺障害を治療又は予防において使用するための請求項 11 に記載の医薬組成物。